

中部IT経営力大賞2013 奨励賞受賞企業

「他人のやらないことをやる」企業精神でIT改革を実現

# 本多プラス株式会社

HONDA PLUS+



## 本多 孝充 氏

本多プラス株式会社 代表取締役社長

### ビジョン

当社の経営理念である『他人のやらないことをやる！』を実践するため、私たちは独自のブロー成形技術をコアに、その可能性と価値を高め、広く世界に『新しいカタチや価値』を提案できる『クリエイター型企業(メーカー)』を目指しております。また『自ら考え、自らつくり、自ら売る！』を経営モットーに、ユニークなプロダクトと夢のある事業ストーリーで、世の中に新しい価値を創造して行きたいと考えております。

### プロフィール

1969年愛知県新城市生まれ。地元の高校を卒業後上京し、音楽活動を行いながら経営学を学ぶ。卒業後、叔父の経営する本多電子株式会社(愛知県豊橋市)に入社し、超音波機器の特機営業を担当。その後、英国に留学し、ヨーロッパ各地を巡る。ケンブリッジの大学院にてMBA取得後、ドイツのプラスチック成形メーカーにて研修。1997年本多プラス株式会社に入社し、取締役経営企画室長兼営業本部長に就任。代表取締役専務を経て2011年12月、代表取締役社長に就任。

- 従来、バラバラであった生産管理の各機能を統合・連携
- 標準化でムダな作業・発注を防ぎ、コスト削減！！
- 迅速かつミスのない作業で顧客の信頼を勝ち取る！！

## ■IT導入の背景と目的

顧客の需要は増加傾向にあるものの社内の生産体制が追い付かず、納期の面等でお客様の要望に応え切れていない状況にあった。それを解消するためには現在の生産負荷や生産計画の見える化を行い、お客様との納期調整を円滑に行える体制を整えることが最重要課題であったが、従業員は日々顧客からの需要を満たす活動に追われるだけで改善活動等を実施しても定着せず、従業員の意識から変えていく必要があった。

当初は市販のスケジューラーの導入や、基幹システムのカスタマイズでの対応を検討したが、自社の業務課題を整理して必要なIT要件を抽出した結果、「他人のやらないことをやる」の企業精神で自社のビジネスモデルに合った最適なシステムの導入を目指すこととし、基幹システムと連携した独自のサブシステムを構築することとした。

スケジューラーについては、自社の製造工程に適したパッケージがなく、マスタの設定等が複雑でわかりづらいため、必要な機能を限定して自社に最適なシステムを構築した。また実績収集についてはこれまでは入力漏れやミス等により在庫が正しく管理されていないことでシステムを使わなくなってしまっていたので、今回はバーコードを活用することで入力作業を軽減し、また入力ミスやポカ除けの仕組みも考慮して独自のシステムを構築した。

今回のシステムの見直しにあたっては現状の業務をそのままIT化するのではなく、各部門の権限と責任を明確にして組織の見直しも含めて業務の最適化を行った上でシステム化を実施した。また従業員の改善意識を高めるために各部門から代表者を選出してプロジェクトチームを結成し、全社一丸となって取り組みを実施した。

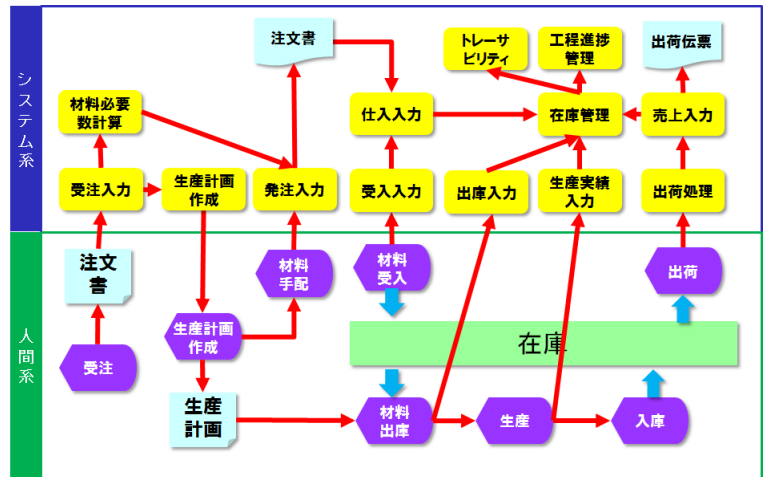
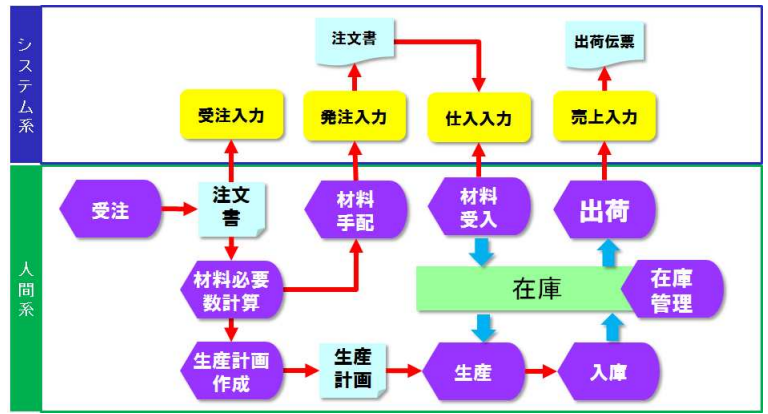
## ■IT化の概要

これまで、システムでは金銭に関わる伝票の発行と、実績の計上のみをキー入力により実施していた。システムには在庫管理の機能やMRPによる手配作成の機能もあったが、入力ミスや例外処理等で実在庫とシステム在庫が一致せず、運用に使用できておらず、別途エクセル等を使用して手作業で行っており、時間もかかりミスの原因になっていた。

今回は材料の在庫・出庫、製品の在庫・出庫の実績をバーコードを活用して正確に収集できる仕組みを構築し、在庫管理を正確にシステムで実施できるようにした上で、在庫に基づく材料の手配や生産計画の作成を行い、工程管理の仕組みも導入することで手作業を大幅に減らすことができた。また、これまで在庫や製造の負荷及び進捗は現場の担当者しか把握していなかったが、システムで管理可能となり情報の共有化が実現できた。これにより受注に対する納期回答の正確性やスピードが向上した。

## ■IT導入の効果

1. 納期管理を徹底し、お客様の要求に迅速に応えられる体制を構築
2. 納期順守を実現する最適な調達計画・生産計画を実現
3. 製造原価管理を徹底し、生産性を向上
4. 部門間の連携力を向上し、全社一丸となった管理体制を構築



### ITコーディネータから一言

株式会社ITイノベーション ITコーディネータ 秋山剛氏

基幹システムを導入している企業でも、基幹システムはお金の管理や伝票の発行のために実施しているだけで、在庫管理やMRPの機能が備わっていても在庫が合わないため有効に活用できていないことが多い。今回のシステムのポイントはいかに漏れなく、ミスなく、簡単に実績を収集して、常に正しい在庫をシステムで管理するかという点にあった。そのために在庫は数ではなく1箱ごとに添付された現品票を活用した現物での管理とし、バーコードを活用してキー入力操作なしで実績が収集でき、漏れや間違いがあっても発見できるポカ除きの機能も考慮した。ハンディーターミナルやタブレット端末を活用し、データは後追いで伝票から入力するのではなく、物が移動した時にリアルタイムで入力することで常にシステムで正確な在庫を管理し、その在庫をベースとしてMRP手配や生産計画につなげることで真に使えるITの導入ができたものと言える。

### 会社概要

所在地: 〒441-1306 愛知県新城市川路字夜燈23-2

社名 : 本多プラス株式会社  
 代表者名 : 代表取締役 会長 本多克弘  
 : 代表取締役 社長 本多孝充  
 設立 : 昭和57年7月  
 資本金 : 1,000万円  
 TEL : 0536-23-1351  
 FAX : 0536-23-1088  
 URL : <http://www.hondaplus.co.jp/>  
 事業内容 : プラスティックブロー成形品のクリエイティブ デザイン&開発・製造

経営理念 「他人のやらないことをやる」

